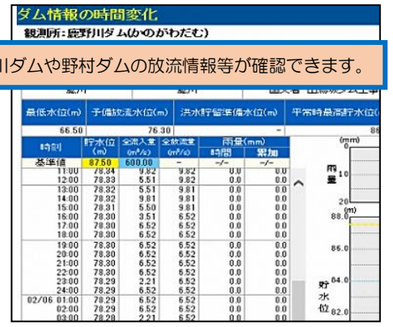
防災関係の情報の取得方法について（インターネット）

国土交通省「川の防災情報」では、雨量や水位、ダムの状況などを確認することができます。

インターネットの検索画面で「川の防災情報」と入力し検索。

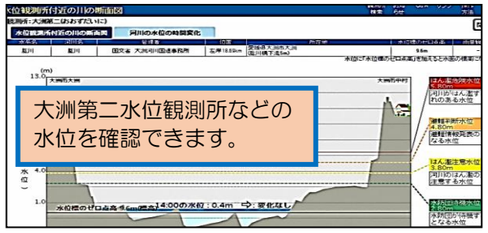
トップメニューの上段にあるアイコンから様々な情報を見ることができます。
水位や雨量、ダム情報に加え清永川樋門などのライブカメラ映像も見ることができます。
また、気象庁などの情報もリンク先から見ることができます。



鹿野川ダムや野村ダムの放流情報等が確認できます。

水位情報

△を選択

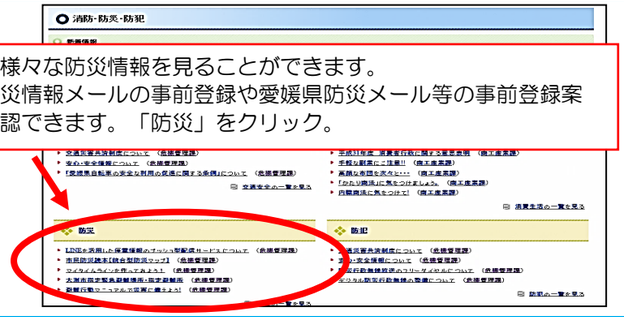


大洲第二水位観測所などの水位を確認できます。

大洲市ホームページの防災情報

トップ画面でここをクリック。

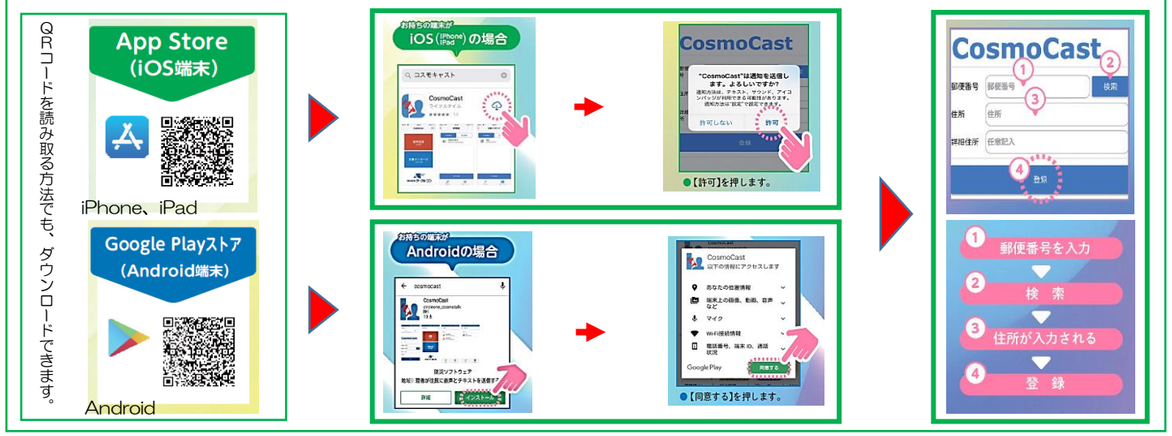
大洲市の様々な防災情報を見ることができます。
大洲市防災情報メールの事前登録や愛媛県防災メール等の事前登録案内等も確認できます。「防災」をクリック。



防災放送アプリの登録方法について

大洲市では、避難情報などの災害に関する情報を、より確実に市民の皆様に伝達するため、ｽﾏｰﾄﾌｫﾝｱﾌﾟﾘに災害時の緊急情報を伝えるサービスを開始しています。下記の手順で登録できます。登録後は、ｱﾌﾟﾘを起動しなくても防災行政無線の音声が流れます。詳しくは、市ホームページでご確認ください。※ｱﾌﾟﾘで放送を流すのは、災害などの緊急時のみです。

端末がiosの場合はApp Storeから、Androidの場合はGoogle Playから「ｺｽﾓｷｬｽﾄ」と検索して、「Cosmo Cast」ｱﾌﾟﾘをﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ。



防災関係の情報の取得方法について（電話）

●川の水位を知りたいとき（国土交通省アナウンス情報）
TEL　24－0299

●防災行政無線が聞こえないとき
TEL　0120－00－8863

上記のほか、災害関連情報をメールで受け取るサービスもあります。市ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞや「大洲市　市民防災読本」で内容を確認することができます。また、「大洲市　市民防災読本」には、公共施設等の電話番号も記載されています。

災害関連情報：災害発生時に備えて日頃から確認しましょう！！

避難判断基準

万一の災害により人的な被害を受けないために、避難勧告などの情報が発表されたら、ただちに安全な避難場所に避難し、身の安全を守る行動をとってください。

避難情報の種別	内容
避難準備・高齢者等避難開始	住民に対し避難準備を呼びかけるとともに、高齢者や障がい者など、配慮を要する方と、その支援者は、立ち退き避難する。
避難勧告	予想される災害に対応した避難場所などに立ち退き避難する。
避難指示（緊急）	既に災害が発生していてもおかしくないきわめて危険な状況となっており、すぐに避難場所などへ避難するか、状況によっては命を守る最善の行動をとる。

避難判断基準地区	発令種類	基準（※1）	
肱川	避難準備・高齢者等避難開始	ダム放流量	1,150㎥/sの放流が予想されたとき
	避難勧告		600㎥/sから1,150㎥/sに放流量を増加させる連絡を受けたとき
	避難指示（緊急）		異常洪水時防災操作（※2）を行う通知を受けたとき
大川・菅田	避難準備・高齢者等避難開始	大川水位観測所	4．9m
	避難勧告		5．65m
	避難指示（緊急）		6．1m
柚木・久米	避難準備・高齢者等避難開始	大洲第２水位観測所	4．5m
	避難勧告		5．5m
	避難指示（緊急）		6．0m
八多喜 伊州子 五郎・只越 東大洲・平 松ヶ花・春賀 白滝・豊中	**避難準備・高齢者等避難開始**	**大洲第２水位観測所**	**4．8m**
	避難勧告		**5．8m**
	避難指示（緊急）		**6．3m**
長浜・沖浦	避難準備・高齢者等避難開始	大洲第２水位観測所	4．5m（※3） 4．0m（※4）
	避難勧告		5．0m（※3） 4．5m（※4）
	避難指示（緊急）		5．0m（※4）

※1　左記の水位に関わらず、異常洪水時防災操作が行われ、水位の急激な上昇が予想されるときは、避難指示（緊急）を発令します。
※2　貯水位が洪水時最高水位を超えることが予測される場合に、放流量を流入量まで増加させる操作を「異常洪水時防災操作」といいます。
※3　満潮位が３．２mを超える予想があり、満潮位の２時間前の水位
※4　満潮位が３．５mを超える予想があり、満潮位の２時間前の水位

警戒レベルを用いた避難勧告等の発令

警戒レベル	住民がとるべき行動	避難情報	情報発信源
警戒レベル5（すでに災害が発生している状況）	命を守るための最善の行動をとる	NEW 災害発生情報	市町が発令（令和元年5月29日から運用開始）
警戒レベル4	全員避難	避難勧告・避難指示（緊急）	
警戒レベル3	高齢者 障がい者 乳幼児 などと その支援者は避難、他の住民は準備	避難準備・高齢者等避難開始	
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認	洪水注意報・大雨注意報	気象庁が発表
警戒レベル1	防災気象情報などの最新情報に注意するなど、災害への心構えを高める	警報級の可能性（早期注意情報）	

※身の危険を感じたときは警戒レベルに関わらず避難してください。
※必ずしも段階的に、レベル1から順に発令されるとは限りません。

土砂災害対策

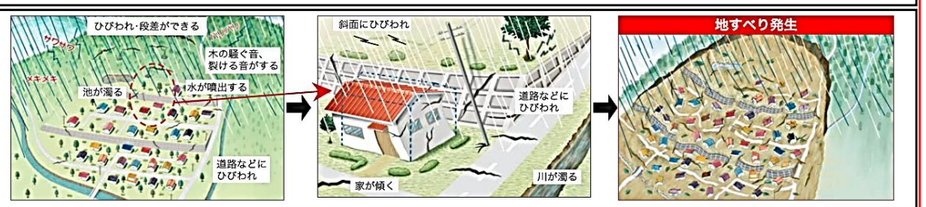
土砂災害警戒情報が発表されていなくても、多量の雨が降り続き、ふだんと異なる状況「土砂災害の前兆」に気付いた場合には、直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、市役所や消防などに連絡してください。※下記は、一般的な前兆現象です。

がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。

土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し出されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまします。

地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すとこれを完全に停止することは非常に困難です。